

**第567回 長野放送番組審議会
議事録**
(令和8年3月)

株式会社 長野放送

第 567 回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和 8 年 3 月 4 日（水）午前11時より
2. 開催場所 長野放送本社会議室
3. 委員の出席 ○委員総数 8 名
○出席委員数 8 名
○出席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）

林 新一郎	委員長
井上 裕子	副委員長
新芝 正秀	委員
笹本 正治	委員
中谷 富美子	委員
中山 潔	委員
樋代 章平	委員
南澤 光弥	委員

○欠席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）
○放送事業者側出席者名

須垣 有司	（代表取締役社長）
早川 英治	（取締役 報道制作・デジタル推進担当）
小林 修	（取締役 編成業務・放送番組審議会担当）
伊藤 晴彦	（報道制作局長）
畠田 哲也	（編成業務局次長 兼 放送番組審議会事務局長）
手塚 かおり	（編成業務局次長 兼 編成部長 兼 視聴者室長）
黒岩 祐治	（報道制作局制作部長 兼 デジタルメディア部長）

議題

（1）番組審議

『NBSフォーカス∞信州 信州STREET BEAT

～密着 アーバンスポーツの若き才能たち～』

（令和 8 年 1 月 30 日（金）午後 7 時～7 時 57 分放送）

(2) 視聴者対応報告（令和8年2月分）

(3) その他

4. 議事概要

(1) 番組審議

主な意見・感想

- ・けん玉のフリースタイル競技について初めて知り、新たな世界に導かれた。
- ・競技解説をもう少し詳しく入れてほしかった。
- ・ナレーション（飯野美紗子氏）が落ち着いていて良かった。
- ・ストリート系スポーツの「お互いを称え合う」精神について、より深掘りしてほしかった。
- ・スポーツの多様性を感じ、従来の勝敗重視から表現重視への変化を実感。
- ・若い世代の柔軟な発想と明るい表情が印象的。
- ・ストリート発祥のパフォーマンスへの偏見が番組視聴により解消された。
- ・映像技法が斬新で、カメラワークが印象的。
- ・アーバンスポーツの定義や場所を選ばないなどの社会的背景について少し盛り込んでほしかった。
- ・身近な若者の活躍を通じて新たなスポーツを知るというアプローチが良かった。
- ・密着感のある青春ドキュメントとしての側面をもっと強調しても良かったのではないか。競技の紹介とドキュメント、ややどっちつかずに。取り上げるスポーツを2つにしても良かったのでは。
- ・指導者の熱意が競技の発展に重要だということを認識できた。
- ・「自分たちの世界」だけで完結し、「社会との繋がり」が忘れられていくことへの懸念を持った。
- ・伝統的な価値観から自由になったスポーツが現れた背景にも意識を向けるべき。

- ・若者が時代を作り、大人が後を追っていくという繰り返しを再認識した。

(2) 視聴者対応報告（令和8年1月分）

資料に基づき、令和8年1月分の視聴者対応について、編成部より報告

(3) その他

配布資料

- ・第566回番組審議会（令和8年2月）議事録

- ・視聴者対応報告資料（令和8年2月分）

- ・次回審議番組DVD

『FNSソフト工場 もしかして運命さん？』

（令和7年11月21日（金）夜7時～午後7時57分放送分）

- ・次回審議番組資料

- ・モニターレポート

『FNSソフト工場 もしかして運命さん？』

- ・BPO報告（NO. 286）

- ・民間放送ニューズレター（第2248号）